

## 合流式下水道緊急改善事業の事後評価について

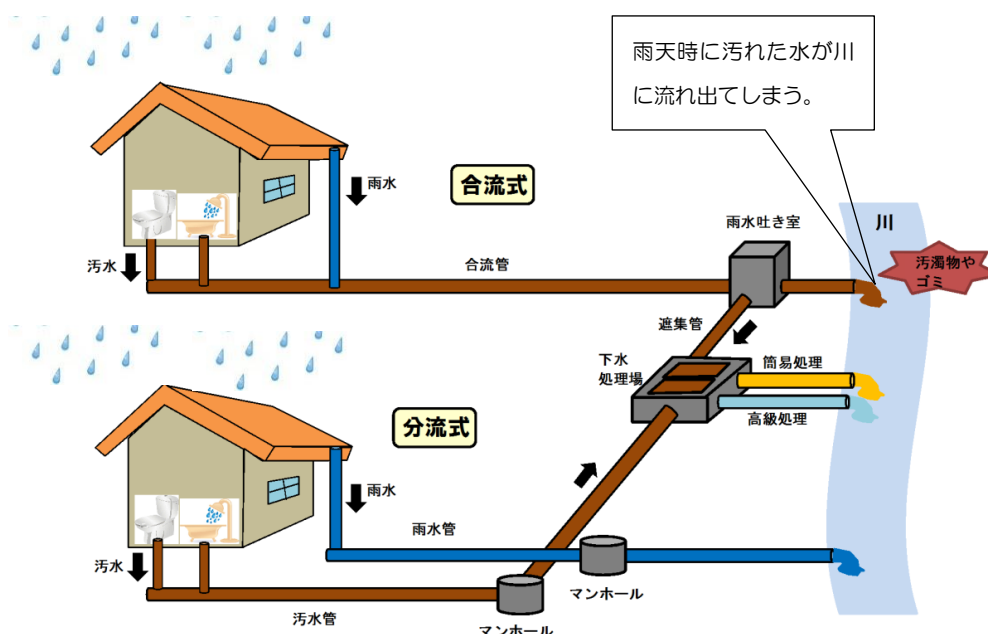
### 1. 『合流式下水道緊急改善事業』とは・・・

合流式下水道とは、汚水と雨水をひとつの管路を用いて排水する方式です。

この方式は、汚水と雨水の対策を同時に進められる反面、雨天時において未処理の汚水が雨水とともに河川等の公共用水域に排出されるため、水質汚濁や悪臭の発生などから近年大きな問題となっています。

このため、合流式下水道を採用している都市において、緊急的かつ集中的に改善対策を実施する「合流式下水道緊急改善事業」が平成14年度に創設されました。

また、下水道法施行令においては、平成16年度から平成25年度までの10年間で対策を完了することが義務付けられました。



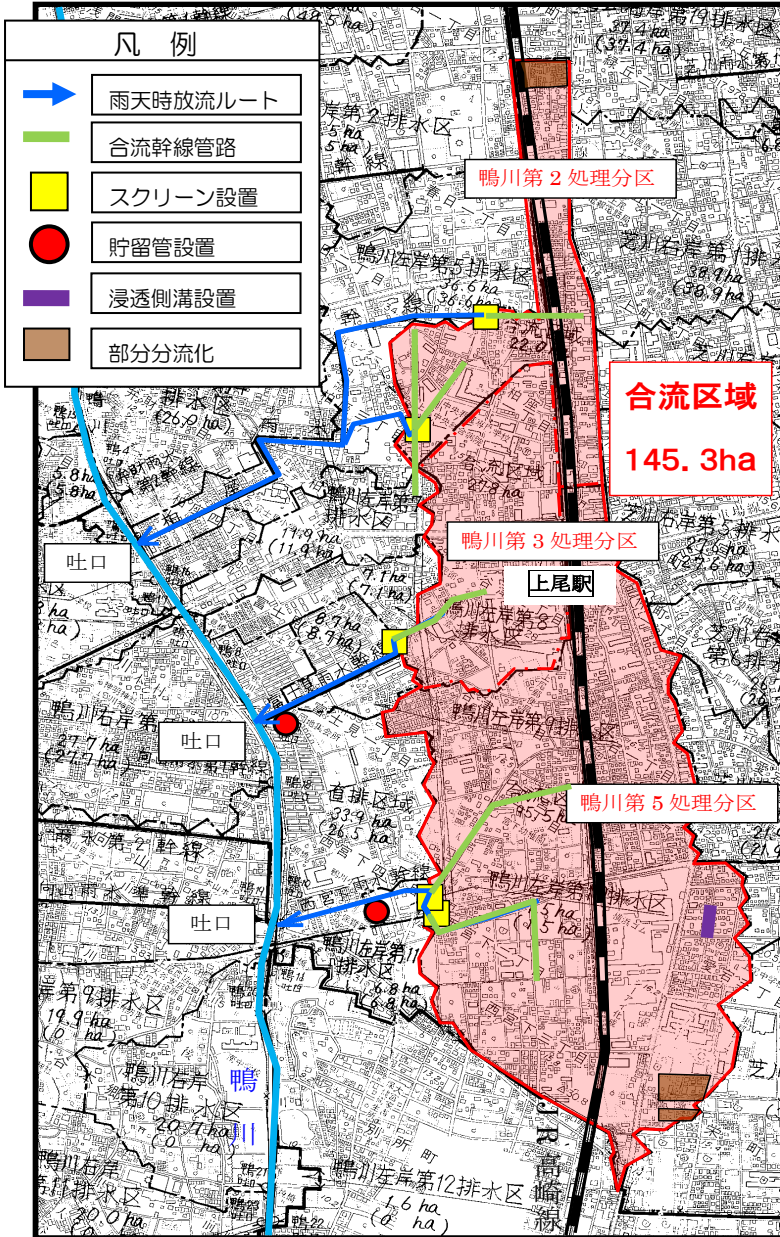
### 2. 上尾市では・・・

昭和40年代から50年代にかけて上尾駅周辺の中心市街地部約145haが合流式で整備されています。そのため、雨天時には、雨水吐き室から越流した未処理汚水が鴨川へと放流されています。そこで、上尾市では「上尾市合流式下水道緊急改善計画」を策定し、改善対策を行いました。

### 3. 合流改善目標

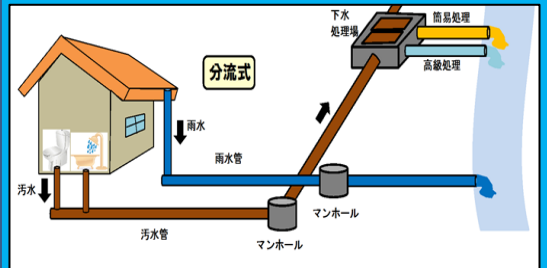
- ①汚濁負荷量の削減・・・雨天時の汚濁負荷量を分流式下水道並みに削減する。
- ②公衆衛生上の安全確保・・・未処理下水の鴨川への放流回数を半減させる。
- ③きょう雑物の削減・・・鴨川へのゴミの流出を防止する。

#### 4. 上尾市の合流改善対策



#### 部分分流化

3.8ha 整備



汚水は処理場へ、雨水は河川へ放流します。

#### 浸透側溝

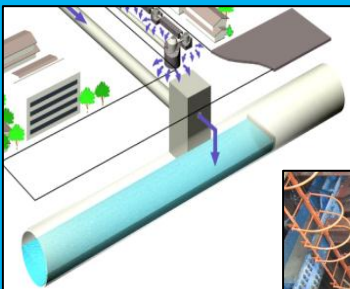
151m整備



雨水の浸透により、排水量を減らします。

#### 貯留管

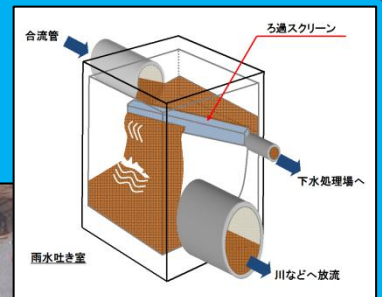
2か所設置  
合計 195 t



雨水吐き室から越流した未処理下水を貯留し、河川への放流を抑えます。

#### スクリーン

5か所設置



河川へのゴミの流出を防ぎます。

5. 目標の達成状況

	目 標	対策前	目標値	対策後	
①	汚濁負荷量の削減 BOD (t/年)	50.02	43.62	43.37	
②	未処理放流 回数の半減 (回/年)	鴨川第2 処理分区	64	32	31
		鴨川第3 処理分区	59	29	29
		鴨川第5 処理分区	59	29	29
③	きょう雑物の削減施設の設置 (箇所)	0	5	5	

- ・スクリーンによるきょう雑物（ゴミ等）の捕捉状況



紙ゴミ等の捕捉

平成 25 年度までに、すべての合流改善対策事業が完了し、目標値を達成しました。